

# ヤツガシラ



金田にて

(撮影：桐原佳介)

■ヤツガシラってどんな鳥？  
ヤツガシラはハトくらいの大さきの鳥で、日本には春と秋の渡りの季節にやってきます。ミミズやオケラが大好物です。私は長い間、頭の飾り羽の様子から八頭だと思込んでいました。しかし、実際には漢字で書くと「戴勝」。この見慣れない熟語は、女性が

首飾りをつけて着飾ることを意味するようで、その様とヤツガシラの冠羽が開いた様子を重ねたことが由来になっているとのこと。確かに頭の羽は8枚どころか20枚ほどもあり、飛ぶ姿も白と黒の縞模様がとても美しく見えます。

■ヤツガシラって里芋じゃないの？

私が初めてヤツガシラの名を聞いたのは高校生の頃です。家庭科の授業でおせち料理の話題の時に、里芋の一品種であることを教わりました。そして、学生時代に沖縄の西表島で里芋でないヤツガシラと出会うことに。乗っていたバスの運転手さんが「ヤツガシラが出たぞ！」と叫びました。野鳥の予備知識がなかった私は、芋がどうしたの？と理解できないまま車窓を見たら、頭に扇を乗せたような鳥が道路をサッサカと横断中。あっという間にヤブに消えて行きました。そんな思出の野鳥が、まさか南部町

にも立ち寄っていたとは、観察した時はとても驚きました。

■春と秋の渡りの中継地

ヤツガシラにとって、南部町はいわば道の駅です。東南アジアから繁殖地のロシアに向かう途中の休憩場所として飛来します。それがちょうど桜の季節と同じ頃、舞い降りる環境はそばに木が生えている芝生広場や畑がお好みです。以前、落合で見かけたという情報を聞いていたので、毎年渡りの頃には、ヤツガシラが好きそうな場所に注意を払っていました。すると平成24年4月に、まさに思い描いていた通りの場所で発見することができました。しかし残念ながら、同じ場所にまたやってくるには限りません。次に出会えた時には、ぜひ扇状に開いた頭の飾り羽を撮影したいものです。南部町の春の楽しみがまた一つ増えました。

自然観察指導員 桐原真希

祐生出合いの館【緑水湖畔】 ■休館日：毎週火曜日(火曜日祝日は翌日) ■問合せ：☎66-4755

『第15回年賀状版画コンクール』審査の結果をお知らせします。応募総数296点(小学生152点、中学生98点、一般43点、その他3点)でした。

祐生大賞は次の方々です。

- ①【小学生の部】 深田<sup>けん</sup>拳(会見第二小4年)
- ②【中学生の部】 持田<sup>じゅり</sup>珠里(法勝寺中1年)
- ③【一般の部】 掛川<sup>かけがわくにお</sup>邦男(東京都)

受賞作品26点はホームページに掲載し、当館ロビーに展示しています。

